

## SPECIFICATION

### ■ PROBE OPTIONS



リニアプローブ L18-4 第226ABBZX00052000号  
 リニアプローブ L14-4 第227ABBZX00067000号  
 リニアプローブ L11-3 第228ABBZX00113000号



リニアプローブ HL18-4 第228ABBZX00111000号  
 コンベックスプローブ C5-2 第226ABBZX00053000号  
 コンベックスプローブ MC10-3 第228ABBZX00112000号



セクタプローブ S4-2  
 第226ABBZX00138000号

### ■ OPTIONS

- ・専用カート
- ・3ポートプローブ拡張ユニット
- ・クレードル
- ・デスクスタンド
- ・増設バッテリーパック
- ・バックパック
- ・キャリーケース
- ・無線LAN子機
- ・カードリーダー
- ・バーコードリーダー
- ・2次元コードリーダー
- ・CWライセンス
- ・ECGユニット
- ・白黒プリンター
- ・コンテンツ(SDカード)
- ・カメラ
- ・カメラ付属品
- ・電子カルテ連携
- ・SNV(Simple Needle Visualization)
- ・ダイレクト録画機能
- ・ライブラリ機能 など

### ■ MAIN BODY

- 走査方式 : リニア、コンベックス、セクタ  
 モード : B、M、Color、Power、SCF、PW、CW\*1  
 モニター : 12.1インチ  
 サイズ : W320 mm x D64.5 mm x H302 mm  
 (突起含まず、スタンド、ハンドルを閉じた状態)  
 電源 : AC 100-240 V(ACアダプター使用時)、  
 50/60 Hz、最大150 VA(本体単体)  
 質量 : 約4.5 kg(本体単体、バッテリー含む)  
 バッテリー駆動 : 標準構成  
 連続90分(Freeze時)、連続60分(稼働時)  
 デュアルバッテリー搭載時  
 連続180分(Freeze時)、連続120分(稼働時)  
 ※新品の満充電状態のバッテリーの時
- 一般的名称 : 汎用超音波画像診断装置  
 販売名 : 超音波診断装置 SONIMAGE MX1  
 認証番号 : 第230ABBZX00010000号



- 改良のため、仕様および外観は予告なく変更する場合がございます。
- ご使用の際は添付文書および取扱説明書を必ずお読みください。
- KONICA MINOLTAロゴ、シンボルマークは、日本及びその他の国におけるコニカミノルタ株式会社の登録商標です。
- SNIBLE yb PREMIUMは、超音波診断装置 SONIMAGE MX1の呼称です。
- SONIMAGEは、日本及びその他の国におけるコニカミノルタ株式会社の登録商標または商標です。
- 「T<sup>2</sup>HI」「Dual Sonic」「MPA」「Unitea」は、日本及びその他の国におけるコニカミノルタ株式会社の登録商標または商標です。
- 「Camera Link」はカメラ機能、「Image Share」は共有ライブラリ機能の呼称です。
- \*1はオプションです。

製造販売元 販売元  
**コニカミノルタ株式会社** **コニカミノルタ ジャパン株式会社**  
 105-0023 東京都港区芝浦1-1-1  
<https://www.konicaminolta.jp/healthcare/>



SNIBLE yb PREMIUM\_202201\_A



# SN / BLE yb PREMIUM

Giving Shape to Ideas

# SNiBLE yb は進化する

コンパクトでありながら、磨き上げられた高画質  
扱いやすいシンプルさ、直感的なインターフェース  
診療の可能性を拓ける一台

リハビリ

院内  
その他

診察室

## SNiBLE yb PREMIUM



\*オプション品を含みます

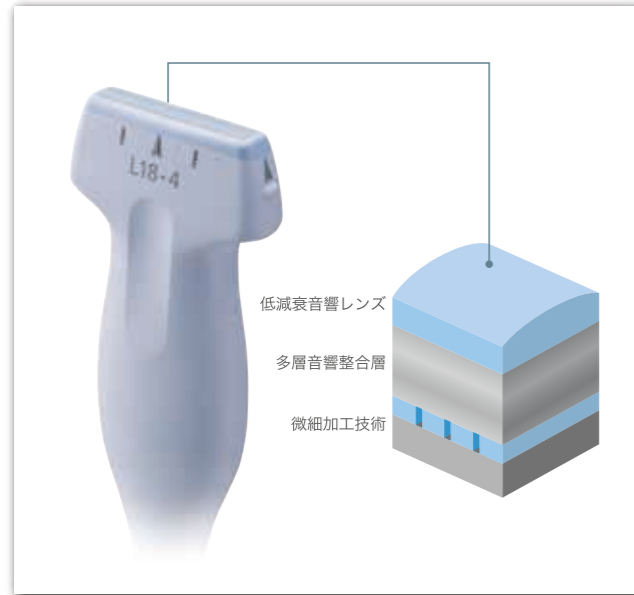


# 意のままに細部までカタチに

H I G H R E S O L U T I O N

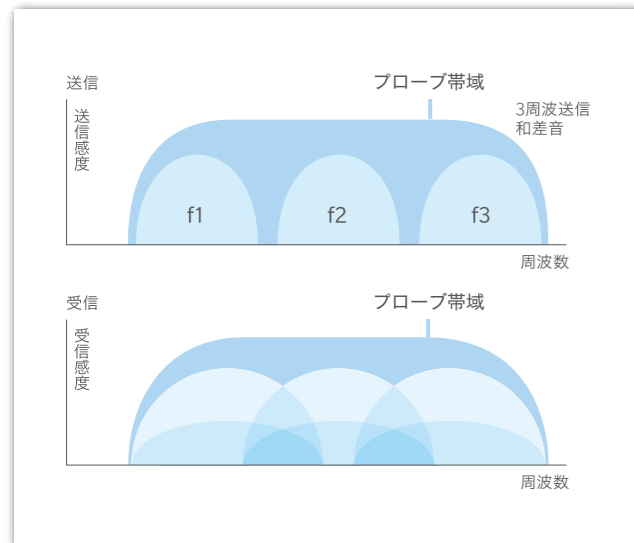
## 高画質を実現する 高周波高感度広帯域プローブ(L18-4)

高感度化と広帯域化を両立するため、プローブ先端部にある音響整合層には、高度なシミュレーション技術で導き出した理想的な多層整合層構造を開発・採用しました。



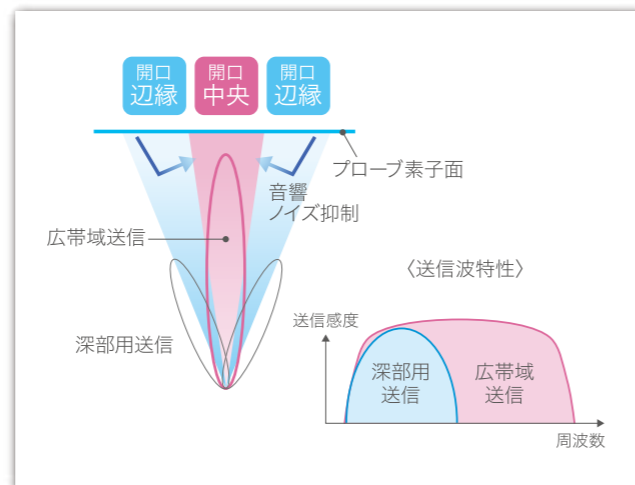
## 高い分解能と深度を両立 T<sup>2</sup>HI<sup>®</sup> (Triad Tissue Harmonic Imaging)

独自開発の広帯域高周波プローブと新規開発の画像エンジンを組み合わせ、帯域内に入ってくる多くの差音/和音/高調波を送受信することに成功し、高分解能と深度を両立させ高画質を実現しました。



## 高画質を実現する新技術 Dual Sonic<sup>®</sup>技術

開口中央部は広帯域の送信波形、辺縁部は深部に有効に働く低周波成分を含む深部用の送信波形を形成。2種類の送信波形により最適な超音波ビームを形成することで、浅部領域での音響ノイズ混入を抑制し高い分解能を実現するとともに、送受信効率の最大化により、深部の描出能向上も同時に達成しました。



## よりきれいに診るために 高コントラスト・広視野角モニター

あらゆる環境において、得られた超音波信号を忠実に表現します。



## 直感的なインターフェース 5つのハードキーとタッチパネル

操作キーを5つに集約し、シンプルで使いやすいインターフェースをカタチにしました。日本語表示によるタッチパネルは、直感的な操作を実現しました。

## 穿刺の精度向上をサポート SNV (Simple Needle Visualization) 機能

独自の画像解析処理技術により穿刺針の動きと推定される変化を認識し、Bモード画像上に穿刺針強調表示を行う機能です。また、SNVステア機能により、刺入方向に依存せず針の視認性を上げることができます。

\*オプション機能  
\*穿刺針強調処理は穿刺手技を行う為の補助機能です。  
ご使用の際は、取扱説明書の注意事項・警告事項を必ずお読みの上ご使用ください。

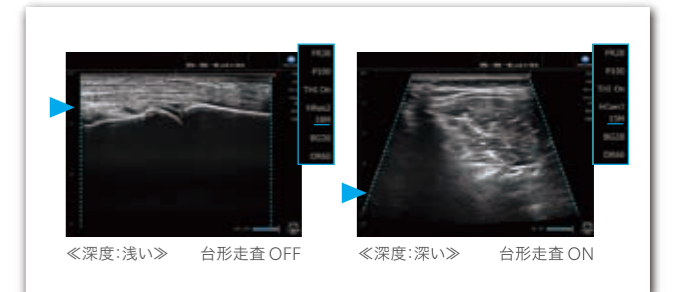
## ワンタッチレイアウト変更 2画面表示(上下/左右)

浅部を多用する運動器診断をストレスなく行うため、上下2画面表示を搭載。左右表示が必要な場合もワンタッチ操作で切り替えが可能です。



## 簡単操作で画像を最適化 MPA<sup>®</sup>機能 (Multi Parameter Adjuster)

表示深度を変更するだけで、あらかじめ設定した画質パラメーターが適用されます。例えば、表示深度を浅くすると高周波に、深くすると低周波や台形走査へ自動的に切り替わります。





# 場所や用途を選ばず医療を繋ぐ

軽量で持ち運びもらくらく  
本体部質量 約4.5kg

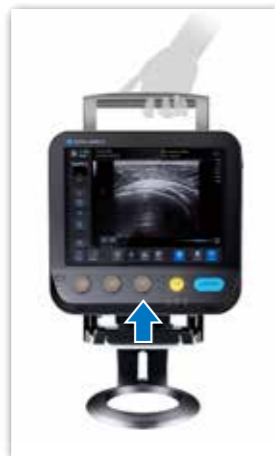
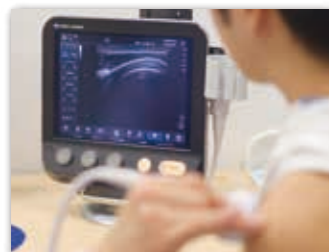
本体にハンドルが付いているので移動もらくらく。  
3WAYタイプ(手持ち・肩掛け・背負い)のバックパックや、スーツケースタイプのハードケースも用意しています。



\*バックパック・スーツケースはオプションです。

ケーブル挿抜のストレスをフリーに  
クレードル

クレードルがあれば、移動や持ち出す際に電源ケーブルやUSBケーブル等の挿抜が不要。またクレードルに戻すだけですぐに充電可能。より簡単に、よりスピーディに診療をサポートします。



移動やデータ連携を簡単に  
無線LAN対応

LANケーブルなしでネットワークに接続可能。  
移動の際のケーブル挿抜の手間とストレスを軽減します。



\*無線環境により利用できない場合があります。\*無線LAN子機はオプションです。



スキルアップをサポートする  
ライブラリ機能

SDカードに記録した超音波画像や動画などを装置で再生。エコーを初めて導入する方でも、動画を参照しながら手技を学んでいくことができます。また、静止画/動画をマイライブラリに保存しておき、必要に応じて参照できます。



SDカードの  
内容

- 整形外科  
1. 手(3) 2. 肘(5) 3. 肩(5) 4. 膝(3)  
5. 足(1) 6. Intervention(1)  
2022年1月現在

\*コンテンツ(SDカード)はオプションです。

患者さんとのコミュニケーションをサポート  
描画機能

説明したい部分に指で直感的に文字や図形を描ける機能を搭載。  
患者さんへのわかりやすい説明をサポートします。

タッチパネル機能



タッチパネル機能を無効にします。

描画機能



指で文字や図形を描くことができます。



USER FRIENDLY

超音波画像とカメラ画像を同時表示  
Camera Link

カメラで撮影した映像を、診断中の超音波画像に重ねて表示します。表示した画像は、静止画と動画で記録でき、動画記録した際は音声情報も保存できます。超音波画像と一緒に、検査状況がリアリティをもって記録されるため、後から検査状態を確認する際や、他者への説明に便利です。

<https://abbr.konicaminolta.com/calnybp>



\*専用のカメラ・その他付属品はオプション品です。

場所や用途を選ばない  
「つながる」フレキシブルな設計

電子カルテやUnitea®上の患者情報をワンボタンでSNIbLE yb PREMIUMと連携することができます。これにより入力間違えの防止や診断の効率化が図れます。またDICOM Storageと、DICOM MWMにも対応。さらに各リーダーを使用すれば患者IDを手入力せずにインプットできます。

\*構成によりオプションが別途必要な場合があります。  
\*Uniteaとは、一般的名称：汎用画像診断装置ワークステーション、販売名：画像診断ワークステーション REGIUS Unitea 認証番号：第225ABBZX00052000号の呼称です。  
\*接続テストが必要な場合があります。  
\*連携可能な電子カルテについては弊社へお問い合わせください。



エコーやタブレットで画像を共有  
Image Share

超音波診断装置で取得した静止画や動画を専用PC上の共有フォルダに保存し、他の超音波診断装置(本機能に対応しているSNIbLEシリーズ/SOIN-IMAGEシリーズ)やタブレットから、共有フォルダのデータを参照できます。Camera Linkとの併用により、カメラ画像や音声情報も共有できます。医師とコメディカルをつなぐ新しい情報共有ツールです。

SNIbLE2は、一般的名称：汎用超音波画像診断装置  
販売名：超音波診断装置SONIMAGE HS2  
認証番号：第301ABBZX00053000号の呼称です。  
\*専用のPC・タブレットはオプションです。

